議事要旨

<table>
<tr><td>会議名</td><td colspan="5">令和８年度第３回芦屋中央病院評価委員会</td><td>会場</td><td colspan="3">芦屋町役場
３階 31 会議室</td></tr>
<tr><td>日　時</td><td colspan="8">令和８年９月 11 日（金）　　午後２時 00 分～午後２時 45 分</td></tr>
<tr><td>件名・議題</td><td colspan="8">１．議題
（１）第３期中期目標期間終了時の検討について
（２）第４期中期目標（素案）について
（３）第４期中期計画（案）について
（４）その他</td></tr>
<tr><td rowspan="10">委員等の出欠</td><td>委 員 長</td><td>村松　圭司</td><td>出</td><td>オブザーバー
（病院）</td><td>櫻井　俊弘</td><td>出</td></tr>
<tr><td>副委員長</td><td>貞安　孝夫</td><td>出</td><td>オブザーバー
（病院）</td><td>日浦　政明</td><td>出</td></tr>
<tr><td>委 員</td><td>中野　徹</td><td>出</td><td>オブザーバー
（病院）</td><td>檜田　房男</td><td>出</td></tr>
<tr><td>委 員</td><td>山口　美和</td><td>出</td><td>オブザーバー
（病院）</td><td>竹井　安子</td><td>出</td></tr>
<tr><td>委 員</td><td>吉野　任</td><td>欠</td><td>オブザーバー
（病院）</td><td>市村　修</td><td>出</td></tr>
<tr><td>委 員</td><td>本田　浩</td><td>欠</td><td>オブザーバー
（病院）</td><td>中野　悟子</td><td>出</td></tr>
<tr><td>事 務 局</td><td>有田　昌子</td><td>出</td><td>オブザーバー
（病院）</td><td>坂本　林太郎</td><td>出</td></tr>
<tr><td>事 務 局</td><td>矢野　健太</td><td>出</td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>事 務 局</td><td>上野　理惠</td><td>出</td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>合意・決定事項</td><td colspan="8">・第３期中期目標期間終了時の検討について協議を行い、「意見書（案）」のとおりとすることを確認した。
・第４期中期目標（素案）について、今回提案した修正案で了承された。
・第４期中期計画（案）を報告し、指標を追加した計画（案）を後日送付するため、これに対する意見を期日までに提出することを確認した。</td></tr>
</table>

〇議題（１）第３期中期目標期間終了時の検討について

・第３期中期目標期間終了時の検討について説明。

（委員長）　事務局から説明がありましたが、評価の結果として、３つの大項目の評価が全てA「目標どおり達成する」となっていることや、評価委員会の中でも芦屋中央病院の取組を評価する意見が多かったことから、引き続き、地方独立行政法人芦屋中央病院に業務を継続されることに、何ら支障はないと考えますが、いかがでしょうか。

・・・・「異議なし。」・・・・

（委員長）　それでは、継続が適当である、と意見をまとめていきたいと思います。手続きについて事務局より説明をお願いします。

・・・・「事務局より意見書（案）の配布・説明」・・・・

（委員長）　事務局から意見書（案）の提案がありました。このとおりまとめ、意見書を提出してよろしいでしょうか。

・・・・「異議なし。」・・・・

〇議題（２）第４期中期目標（素案）について

・第４期中期目標（素案）について説明。

（委員長）　何か意見や質問がある方はどうぞ。

・・・・「質疑、意見なし。」・・・・

（委員長）　委員の意見を可能な範囲で反映いただいた修正案が今回提案されたように感じます。この内容で、第４期中期目標（素案）は適当であると認めてよろしいでしょうか。

・・・・「異議なし。」・・・・

〇議題（３）第４期中期計画（案）について

・病院より第４期中期計画（案）について説明。

（委　員）　DX の推進は益々求められていくことになると考えるが、IT 部門はあるのか。

（病　院）　経営企画課長を中心に医療情報管理部署で現在も取り組みを進めている。また、当院だけで進めることが難しい内容についてはコンサルタントを適切に活用して、セキュリティの面も含めて DX を推進していきたいと考える。

（委員長）　先日、厚生労働省の AX・DX 推進本部が開催されたが、基本的に電子カルテもクラウド化すべきとしている。この対応のためには、医療情報関連の方々も、リスキリングが必要になってくることがあろうと思う。このため、今回 18 ページに追加されたように、積立金があるときは、教育・研修体制の充実の財源に充てるというのは、そうした変化の流れに対応していくことにもつながってくると考える。

その他で、私から 2 点。1 点目は、4 ページの「救急医療への取組」の指標を「高齢者緊急入院数」と「高齢者救急搬送受入数」としている。このうち、「高齢者救急搬送受入数」については、このうち入院になった数を内訳として記載することも可能だと考えるが、これをしない理由があるか。

（病　院）　内訳として記載することは可能である。「高齢者緊急入院数」は経路を問わずに緊急入院した人数。「高齢者救急搬送受入数」は、どの程度救急搬送を受け入れたか。令和 7 年度実績を見てもらうと、この 2 つが乖離していることが分かる。これが、当院の特徴であると考えており、ウォークイン入院の患者さんが多いことが分かるように、このように指標を設定した。

（委員長）　よくある例としては、「高齢者緊急入院数」と「高齢者救急搬送入院数」を指標とし、救急搬送を受け入れているのに、入院しなかった場合は評価されないというケースがある。そのため、「高齢者救急搬送受入数」を指標として設けているのは非常に良いことだと思う。加えて、「高齢者救急搬送入院数」が分かると色々な内訳が分かり、より良くなるのではないかと感じた。

（病　院）　おっしゃるとおり。指摘を踏まえ、検討する。

（委員長）　もう 1 点が、6 ページの「医療従事者の確保」の指標について、「その他医療従事者数」に様々の職種が含まれていると思うが、確保の難しさに偏りがあるようであれば、その職種を分けておく必要があると考えるがどうか。

（病　院）　薬剤師の確保が難しい面があったが、最近は充足してきたため、この指標で問題ないのではないかと考える。

（委員長）　これは確認になるが、本評価委員会でインシデント報告件数を指標するか議論になったことがある。今回も指標としていないが、検討の経緯等あるか。

（病　院）　前回と同じ回答になってしまうが、インシデント報告件数の目標値の設定が

難しいことから、指標としては設定せずに、評価の際に実績値のみを報告したいと考えている。

（委員長）　他になければ、意見提出の方法について事務局から説明をお願いする。

・・・・事務局説明・・・・

（委員長）　何か意見や質問がある方はどうぞ。

・・・・「質疑、意見なし。」・・・・

○議題（４）その他

（委員長）　委員の皆さんでその他の議題がある方はどうぞ。

・・・・「なし。」・・・・

（委員長）　事務局から事務連絡があればどうぞ。

・・・・事務局事務連絡・・・・

（委員長）　何か質問がある方はどうぞ。

・・・・「質疑なし。」・・・・

（委員長）　それでは、以上で本日の委員会は終了する。

（閉　会）